

小・中・高等学校理科の目標及び特徴的な記載事項

平成27年12月14日
教育課程部会
理科ワーキンググループ
資料3

学校	目標	学年目標, 分野目標	指導計画の作成と内容の取扱い
小学校	自然に親しみ, 見通しをもって観察, 実験などを行い, 問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに, 自然の事物・現象についての実感を伴った理解を図り, 科学的な見方や考え方を養う。	第3学年の目標 ……比較しながら…… 第4学年の目標 ……関係付けながら…… 第5学年の目標 ……条件に目を向けながら…… 第6学年の目標 ……を推論しながら……	観察, 実験の結果を整理し考察する学習活動や, 科学的な言葉や概念を使用して考えたり説明したりするなどの学習活動が充実するよう配慮すること
中学校	自然の事物・現象に進んでかかわり, 目的意識をもって観察, 実験などを行い, 科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め, 科学的な見方や考え方を養う。	第1分野, 第2分野の目標 (2), (3) ……観察, 実験の結果を分析して解釈し表現する能力を育てる……	問題を見だし観察, 実験を計画する学習活動, 観察, 実験の結果を分析し解釈する学習活動, 科学的な概念を使用して考えたり説明したりするなどの学習活動が充実するよう配慮すること
高等学校	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め, 目的意識をもって観察, 実験などを行い, 科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め, 科学的な自然観を育成する。	「基礎を付した科目」「物理」 「化学」「生物」「地学」「理科課第研究」 ……○○学的に探究する能力と態度を育てる……	各科目の指導に当たっては, 観察, 実験などの結果を分析し解釈して自らの考えを導き出し, それらを表現するなどの学習活動を充実すること